



何が起こるか分からない実践的訓練 ～三条市と合同で、ブラインド型の水害対応訓練～

今年、大河津分水事業の契機となった「横田切れ」から120年、信濃川下流域で戦後最大の実績流量となった「H23.7.29水害」から5年の節目の年です。

近年の降雨の激甚化傾向、昨年に関東・東北豪雨による鬼怒川の破堤を踏まえると、信濃川下流域でも、今ある施設だけでは守りきれない大洪水が発生することを想定しておく必要があります。そのような水害の際には、流域住民の皆様命を守るため、関係機関が緊密に連携して対応する必要があります。

災害時に迅速・的確に対応するには、日頃からの準備・訓練が欠かせません。また、災害時には何が起こるか事前には分からず、得てして予想外のことが起こります。そのため、様々な事象に対応できるように訓練することが重要です。

そこで、三条市と信濃川下流河川事務所等が合同で、訓練のシナリオを事前に知らせない(ブラインド型)、水害対応訓練を行います。訓練では、三条市長も参加し、水害に伴い発生する事象に対して、市と国が情報を共有し、住民の避難や被害軽減等の対策の判断・指示を実施します。

※訓練は、図上(現場対応がない)形式、同一会場に一堂に会して実施します。

記

1. 訓練名：信濃川下流河川事務所・三条市 水害対応合同訓練
2. 日時：平成28年7月4日(月) 13:00～16:30頃
3. 場所：三条市厚生福祉会館(三条市旭町2丁目6番11号) 地図参照
4. 参加者：信濃川下流河川事務所、三条市(市長含む)、新潟県三条地域振興局

※ 訓練は、現場対応が無い図上訓練で、同一会場に一堂に会する合同訓練形式です。

同時配布先
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
新市政記者クラブ
三条市記者室

問い合わせ先
国土交通省 北陸地方整備局
信濃川下流河川事務所 建設専門官 小山 英夫
調査設計課長 木伏 重男
問い合わせ電話(代表)
(025)266-7131 FAX(025)266-7105
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/>

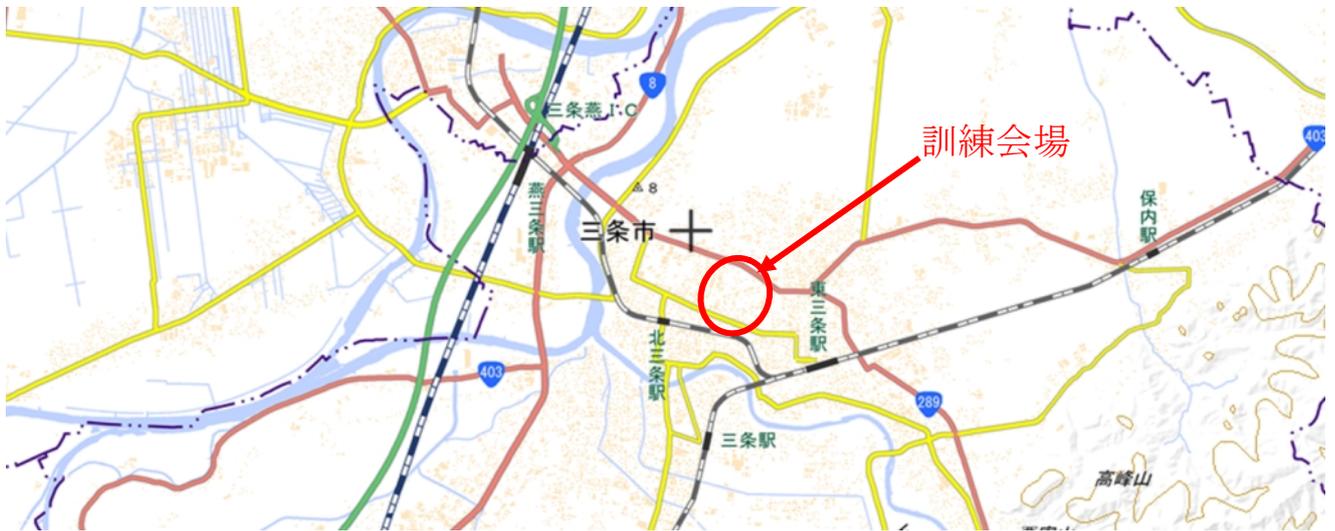


H23. 7月の出水状況
(新潟市秋葉区小須戸橋付近)



H23. 7月の出水状況
(三条市五十嵐川合流点付近)

(地 図)



拡大

